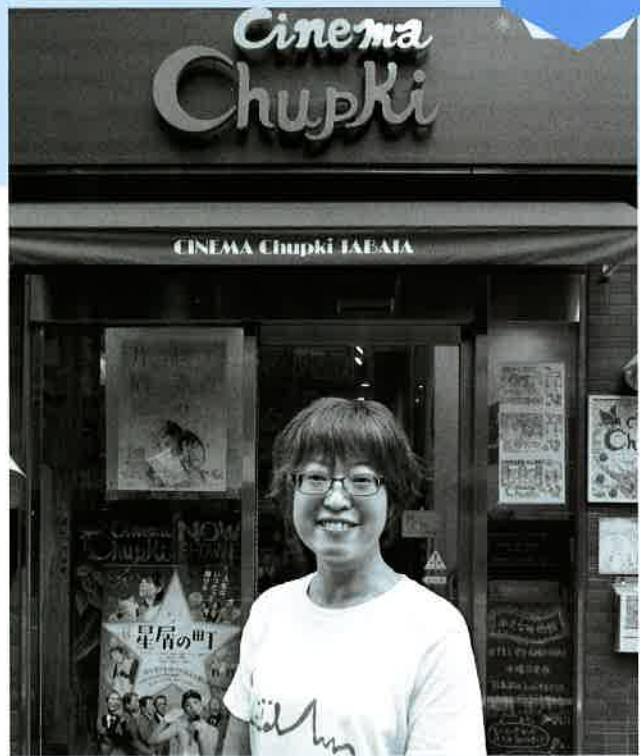


映画館でしかできない感動体験を

CINEMA Chupki TABATA

代表 平塚 千穂子 さん



profile ひらつかちほこ

早稲田大学教育学部卒業。飲食店勤務などを経て、名画座映画館「早稲田松竹」のスタッフに。2001年、『City Lights』を設立。03年、第37回NHK障がい福祉優秀賞を受賞。14年に上映スペース「Art space Chupki」オープン。16年9月に「CINEMA Chupki TABATA」をオープンし、代表を務めている。

二〇一六年九月に北区田端にオープンしたシネマ・チュプキ。タバタは、目や耳の不自由な方も、どんな方も一緒に映画を楽しめるユニバーサルシアターです。車いすスペースや防音構造の親子鑑賞室を配し、音声ガイドや字幕付き上映を常時行っています。野外上映を屋内で楽しんでいるような、リラクセスできる空間にしたいとの思いから、内装には森をイメージした人工芝や、木やグリーンのもが使用

されています。コロナ禍による休館を乗り越え、営業を再開したシアターの代表平塚さんにお話をうかがいました。

新型コロナウイルス対策の
休館期間

世の中で「ミニシアターを救おう」という大きなうねりが起きたことで、シアターをより広く知ってもらえる機会となり、ありがたかったです。「シアターをなくさないように、がんばらな

くては」と、寄付やサポーターの募集を始めたほか、オンラインショップもリニューアルしました。また、視聴者に好きなミニシアターと作品を選んで観てもらおう、「仮設の映画館」という配給会社のオンライン映画館の企画にも参加し、できることをして営業再開に備えました。

上映作品の選定や音声ガイドの制作について

当館は、開館当初から全作の音声ガイド・字幕付きでの上映を貫いています。話題の新作や、季節に合ったもの、同じ監督の新旧作や、テーマに沿った作品など、続けて観ることも意識して選んでいます。

音声ガイドは、月に数本を一作品につき平均四〜五人で分担して原稿を作成し、担当者間や視覚障がい者の方の確認を経て仕上げています。また、私たちは音声ガイドの講習会も開催しており、音声ガイドの制作をお願いする方は、修了生からボランティアで募っています。学生からシニアまで、幅広い世代の方が参加してくれていますよ。

かけがえのない映画鑑賞体験を

はじめは盲導犬を知らず、「映画館に犬がいるよ!」と、驚いていた小学生の女の子が、一緒に映画を観たことで盲導犬ユーザーについて学び、「大きくなったら、あの犬を連れてたひとのために何かしたい」と言ってくれたことがあります。日常の中で、障がい者の方に出会う仕掛けがあちこちがあれば、もっと「ユニバーサル」の発想が広がっていくのではないのでしょうか。

ネットの動画配信に慣れてしまった若い人たちに、大きなスクリーンで、いろいろな人と、同じ空間で、同じ映画を観て感動するというかけがえのない体験を、これからも広げていきたいですね。



シネマ・チュプキ・タバタ

北区東田端 2-8-4
営業時間 10:00~21:30 (水曜定休)
電話 03-6240-8480



男女共同参画社会をめざす

—— ゆうレポート

REPORT

東京都北区スペースゆう情報誌

CLOSE UP

世界的危機下に活躍する
女性リーダーたち

インタビュー

CINEMA Chupki TABATA
平塚千穂子さん



特集

増える10代の性被害

すべての女の子たちに伝えたいこと

2020.10.31

No.50